

会 議 録（要点筆記）

|                                |                                                                                                                                                                                                        |
|--------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 会 議 名                          | 第 1 回米原市総合計画審議会                                                                                                                                                                                        |
| 開 催 日 時                        | 令和 3 年 7 月 28 日（水） 午後 3 時から午後 5 時 45 分まで                                                                                                                                                               |
| 開 催 場 所                        | 米原市役所本庁舎 会議室 4 A B                                                                                                                                                                                     |
| 出席者および欠席者                      | 出席者：鵜飼修委員、富川拓委員、谷口絹代委員、山本泰裕委員、<br>佐野昌子委員、清水啓子委員、高田由利委員、谷口嘉之委員、<br>法雲俊邑委員、三田剛史委員、矢野令子委員、山本晃司委員、<br>山脇光二郎委員、吉田正子委員<br>欠席者：藤田知丈委員<br>事務局：平尾市長、鹿取政策推進部長<br>政策推進課 清水課長、松村課長補佐、石田主任、富田主事<br>傍 聴：なし           |
| 議 題                            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・第 2 次米原市総合計画の実態把握と中間評価の方針・将来の目標人口について</li> <li>・施策展開の見直しに当たっての新たな視点、成果指標について</li> <li>・令和 3 年度市民意識調査の結果について</li> <li>・意見交換</li> </ul>                          |
| 結 論                            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・会長に鵜飼修委員、副会長に富川拓委員が選任された。</li> <li>・第 2 次米原市総合計画の実態把握と中間評価の方針が決定された。</li> <li>・将来の目標人口の見直しについて確認を行った。</li> <li>・各委員と総合計画の実態把握と中間評価を行うにあたって意見交換を行った。</li> </ul> |
| 審 議 経 過<br>(主な意見等を原則として発言順に記載) | 1 開会<br>2 市長挨拶<br>3 委嘱状交付<br>委員を代表して鵜飼委員に委嘱状を交付<br>4 審議会委員および事務局の自己紹介<br>5 会長、副会長の選出<br>会長 鵜飼修委員、副会長 富川拓委員を選出<br>6 諮問<br>市長から鵜飼会長へ諮問書の提出                                                               |

|     |                                                                                                                                                                                                                                               |
|-----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 会長  | <p>7 議事</p> <p>諮問書をとおして、改めてどういったことをするのかを確かめたい。今の社会情勢に応じて、計画の見直しをしてほしいというのが審議会の趣旨である。</p> <p>それぞれの立場で発言をいただくのはもちろん、それを超えた忌憚のない意見を頂戴したい。</p> <p>総合計画の残り 5 年間の計画および市政が社会情勢に対応できるものとなるように審議いただきたい。</p> <p>では、次第に沿って進めることとし、まずは事務局から説明をお願いします。</p> |
| 事務局 | <p>【事務局から第 2 次米原市総合計画の実態把握と中間評価の方針・将来の目標人口について説明】資料 1</p>                                                                                                                                                                                     |
| 会長  | <p>実態把握、中間評価の方針と人口ビジョンに関する説明であった。</p> <p>人口ビジョンについて質問だが、要は働く場所がないということか。若い人が出て行ってしまい、帰って来ない原因はそこにあるということか。</p>                                                                                                                                |
| 事務局 | <p>市内で若い女性を中心に若者が働ける場所や雇用の創出ができていないというのも一つの要因であり、一度市外へ出てしまうと戻って来ないというのが要因としてあると思う。</p>                                                                                                                                                        |
| 会長  | <p>見直し方針については全てを見直すのではなく、中間見直しであるため 10 年間のスパンで考えた基本理念といったものは見直さないという提案だと思う。見直しとして目標人口は既に推計されているものがあるのでこれで変更していくということで良いか。</p> <p>第 3 部の施策展開について、皆さんに意見を伺いながら見直しを行うということで良いか。</p>                                                              |
| 事務局 | <p>そうである。</p>                                                                                                                                                                                                                                 |
| 会長  | <p>では、委員の皆さんから御意見等いかがか。</p>                                                                                                                                                                                                                   |
| 副会長 | <p>基本的なことから確認するが、人口ビジョンの 21 ページで目標人口を再設定されたということであるが、ベストシナリオ、ボトムシナリオ、社人研推計などの見方を教えてほしい。</p>                                                                                                                                                   |
| 事務局 | <p>ベストシナリオは、高い目標値であり、あらゆる施策を展開した場合の</p>                                                                                                                                                                                                       |

|     |                                                                                                                                                                                                                                   |
|-----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|     | <p>シナリオである。ボトムシナリオは、出生率を 1.76 とし、社会減の緩和を 5 年ごとに+3 %として設定したシナリオである。また、基準シナリオは、出生率を 2040 年に 1.8、2050 年に 1.9、以後維持とした場合で、社会減の緩和は 5 年ごとに+5 %で設定したシナリオである。今回の 37,800 人という目標人口は、基準シナリオをベースとして設定したものである。</p>                              |
| 副会長 | <p>いろいろな線がある中で、ベストを目指したいと感じる人もいるかと思い、また表現が難しい内容でもあったので質問をした。あらゆる施策や予算に関わる内容であるが、皆さんとベストを目指してまずは委員の意見を出し合うことが必要だと改めて感じた。</p>                                                                                                       |
| 委員  | <p>若い人が流出するというデータがあり、会長からは働く場所がないのではとの指摘があった。計画策定から 5 年が経過したが、これまでの間に若者が地元に着定できるような職場づくりや活動は行われたのか。</p>                                                                                                                           |
| 事務局 | <p>前回の総合戦略を策定した時から、若者が帰ってきていないことが分かっていたので、打開すべく取り組みはしてきた。企業誘致も候補の一つとしていたが、現段階では工業団地の土地を造成し誘致を見込める状況ではない。そうした背景から、女性や若者が米原市で起業や創業ができるような体制・仕組みづくりをしていくべきだろうとの方針で対策を進めてきた。また、移住定住施策として空家対策などの支援をして人口を増やし維持していけるよう取り組んでいるところである。</p> |
| 委員  | <p>そう言われると、空家対策に携わる身としては荷が重い部分がある。</p> <p>空家対策に携わる中で、実際に移住されるのは中年の方が多い。年間 20 世帯ぐらいが移住されている。ただ、若い人が定着するような空家対策についてはまだ取組ができていない。市側で、良い条件の空家を若者に無償で提供するような若者向けの施策を展開いただけると状況も変わってくると思う。</p>                                          |
| 委員  | <p>資料 1 将来の目標人口で、令和 3 年から下降傾向が突然水平になるのは何か根拠があつてのことか。2060 年までのグラフを元に想定したものなのか。これまでの傾向からすると例えば令和 4 年では本当はもっと下がるはずで、そこから施策等によって V 字回復して 37,800 人ということであればわかるが、いかがか。令和 3 年から突然変曲点が上がるようになっていて違和感がある。</p>                              |
| 事務局 | <p>令和 3 年までは住民基本台帳に基づく実績値で、令和 3 年以降は先ほど</p>                                                                                                                                                                                       |

|     |                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|-----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|     | <p>の人口ビジョンに基づく推計値としているためである。本来であれば令和3年以前の流れで減少傾向になると思う。</p>                                                                                                                                                                                                                                |
| 委員  | <p>本来、より大幅な人口減少を予想するのであれば、もっとテコ入れをして施策を作っていかなければいけないと思う。希望的観測で、今年からは人口減少が緩やかになるというのは考え方としてぬるいと思う。根拠を持って推計値を出していることは承知しているが、もう少し現実的に人口減少に対して問題意識を持って取り組むべきだと思う。</p>                                                                                                                         |
| 会長  | <p>あまり標記を変えるのは良くないかもしれないが、例えば令和8年度は推計値なので目標としつつも、その間は減少した点線にするなどしてはどうか。今のままいきなり角度が変わるのは信ぴょう性にも欠けるので、目標人口は37,800人を目指したいという希望を示す表現にした方が良いのではないと思うが、皆さんはいかがか。</p>                                                                                                                             |
| 委員  | <p>令和3年以降は、上部に「将来推計人口」と書いてある。将来推計人口は先ほどの説明で、基準の推移でいくと37,800人を見込めるということであったが、それは市の施策の一つとしての数字であって実線で書くのは良くないと思う。あくまでも将来推計人口なので破線等で表記した方が良いと思う。</p> <p>目標人口の算出方法についての注釈や、あくまでも推計値であるため下回る場合もあるという注釈が書いていない。このままだと、この数字が独り歩きして37,800人が確保されているようなイメージを持たれる危険があるため、注釈を明記してきちんと説明する必要があると思う。</p> |
| 会長  | <p>グラフ全体の説明は、上部に書かれているが、それでは説明不足であるとの御意見をいただいた。修正内容として、グラフの下部に注釈として算出根拠を加えることと、将来推計人口は実線ではなく破線表記に改めるということではいかがか。</p>                                                                                                                                                                       |
| 事務局 | <p>御意見のとおり修正する。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 会長  | <p>では、次の議案に移る。</p> <p>(2) 施策展開の見直しに当たっての新たな視点や成果指標について事務局から説明をお願いする。</p>                                                                                                                                                                                                                   |
| 事務局 | <p>【事務局から施策展開の見直しに当たっての新たな視点、成果指標について説明】資料2</p>                                                                                                                                                                                                                                            |

|     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|-----|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 会長  | <p>ここでは二つの話がある。一つ目に、総合計画の中間見直しを行うにあたり各施策について見直すための視点として国の方向性や市の状況を加味して検討した視点の案を事務局側で列挙したので、これについて過不足がないか皆さんに確認をいただきたいということ。</p> <p>もう一つは、成果指標について指標の目標値は計画策定時に設定したものであって、これらは施策とセットになっているので施策が変われば、もちろん指標も変わる事となる。今のところは施策が同じと想定して、黄色い帯が令和2年の実績値で、令和3年度の目標値はこうなっていたが、すでに目標を達成できているところもあるので、例えば、資料2の1ページ目2番目の利用者支援事業は、実施箇所数が1か所で目標値も1か所であり、既に目標は達成している。ただ、この目標値設定について令和3年度、令和8年度の目標値が1か所と設定していること自体、これで良いのかという点を検討いただきたい。令和8年度の目標値を1か所のままにしているのは、増やさないという判断になるのか。</p> |
| 事務局 | <p>増やさないというわけではなく、この目標値で良いのかということを含めて御意見をいただきたい。担当課とも協議をしながらになるが、増やす必要があるだろうと思っている。そのあたりも確認して、目標値を新たに見直していきたい。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 会長  | <p>では、委員の皆さんには目標値の達成状況も踏まえながら目標自体がこのままで良いのかを検討いただき、御発言の際にはその理由も添えていただくようお願いする。</p> <p>今回、全て網羅して御意見をいただくのは難しいので、適宜、別紙の意見照会様式に意見を記入していただき、会議の後半に伺う場を作りたい。現時点で、成果指標の見方や全体の仕組みに対する御質問等はいかがか。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 事務局 | <p>説明について補足がある。成果指標資料に記載している令和3年度と8年度の目標値は、計画策定時の目標値であり見直しの方針について皆さんの了解を得た後に、各課へ照会し現状等を踏まえて令和3年度の目標値の部分を残し5年の中間年にあたる令和6年度に改めること、さらに令和8年度の目標値についても現状を見極めて再度設定する予定である。次回の審議会で改めて見直し案として提示したい。そのため、まずは見直しにあたっての視点に過不足がないか、御意見をいただきたい。</p>                                                                                                                                                                                                                               |
| 会長  | <p>了解した。では、皆さんから御意見や質問などいかがか。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| 委員  | <p>今すでに達成している目標は、数字の見直しが必要かどうか、各セクシ</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |

|     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|-----|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 事務局 | <p>ョンに問いかけて再提出するということなので、赤枠の項目は議論する必要がないということによろしいか。</p> <p>事前に資料を送付された際には、「資料２をよく読んで発言してください」という趣旨の文書が出ていたので、私は資料２を読んできたが今の説明と案内文書の内容は相違があると思うが、いかがか。</p> <p>ほかの部分でも目標値の項目としておかしなものもあるし、なぜこんなに達成率が低いのかと思うものもある。ここで質問してよろしいか。</p> <p>この成果指標一覧は、現段階の情報を皆さんに提供して今後の見直し方針の参考にしていただけるように配布したものである。もちろんこの成果指標も先ほど説明したように見直す必要があるため、今の実績値と目標値、さらに見直しのポイントになるように、達成しているものを赤枠で分かりやすく示した次第である。</p> <p>疑問に感じられた点などは、ぜひ御発言をお願いしたい。</p>                                                                                                                                                                                                                                                |
| 委員  | <p>例えば、No. 61 の「平和祈念式典の参加者数の目標値 400 人」とされていることについて、私も自治会連合会として出席要請をいただいたが、これは開催案内を受け取った人しか出席できない。まして、今はコロナ禍で出席者数にも制限がかかっている状況だと思う。「一人ひとりが尊重され平和を大切にすまち」を目指すにあたっての目標指標がなぜ「平和祈念式典の参加者数」で、なぜこれが平和を意識したまちづくりの指標となるのか理解できない。この参加者数を目標値にすること自体がナンセンスだと思う。例えば、市民が平和を意識するパネル展などがあって、平和を意識する様々な機会を提供して、そういった場面に参加した人がどれだけいたかというならば、まだ意味がわかる。</p> <p>また、No. 68「間伐面積」と No. 72「木材供給量」の実績値が、あまりにも目標値から乖離している（実績値が小さい）のはなぜか。その要因を聞きたい。</p> <p>また、No. 70「家庭ごみの一人一日当たりの排出量」を減少させる方向で目標設定されているが、以前に比べて今は多くのごみが出るようになった。例えば、自宅で介護をしている人は、介護のごみもたくさん出る。高齢化が進み、自宅介護をする割合が増えてきたのに家庭ごみが減る訳がない。むしろ増加する傾向にあるのに、減らす目標値を設定しているのは理由がわからない。まして高齢社会に向かっており、介護に関わるごみも多く出るのに、ごみが減ることを目標に設定した理由を確認したい。</p> |
| 会長  | <p>記念式典の参加者数、間伐面積、木材供給量、家庭ごみの件、計４点の指摘であった。事務局は、次回までに各課と協議して回答できるようにし</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |

|      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|      | てほしい。                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 事務局  | はい。今の御質問のようなそもそも指標としてどうなのかというところも含めて、各課に見直しをかけようと思っているので、次回、そのあたりも回答したい。                                                                                                                                                                                                                                        |
| 会長   | では、次の議題に移る。<br>令和３年度市民意識調査の結果について説明をお願いします。                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 事務局  | 【事務局から令和３年度市民意識調査の結果について説明】資料３                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 会長   | 今の説明について、グラフの見方等の質問等はないか。                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 委員一同 | (質問なし)                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 会長   | では、次の議題（４）意見交換に移る。<br>今までの説明や見直しに当たっての視点など、一人ずつ御意見をお願いしたい。                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 副会長  | ・市民意識調査の回収率は市の様々な調査と比較して「良好」と捉えているか。また、その中でも人口増加のターゲットとなる 10～20 代の回収率は低い傾向であるが、ほかの調査と比べて当該世代の市への関心度の変化はどのように捉えているか。                                                                                                                                                                                             |
| 事務局  | 今回の回収率はかなり良好だと捉えている。その要因は、インターネット回答の増加、コロナや新庁舎完成に伴う市への関心の高さによるものと考えている。                                                                                                                                                                                                                                         |
| 副会長  | ・人口増加のターゲットとなる若者の意見については、この世代の自由記述欄の回答を貴重な意見として、今後の議論の参考にしたい。自由記述には、回答に収まらなかった若者の思いが込められていると思う。<br>・「施策展開の新たな視点」の子育て支援について、ジェンダーの視点で男性の子育て支援も注目を集めていると思うのでこれを重点的に掲げてみてはどうか。<br>・第２章にも関わるが、性的マイノリティや多様性の尊重などの視点を例として挙げているが、こういった視点をぜひ入れてほしい。例えば、他市町でも話題になっている同性パートナーシップ制度など具体的な取組も加えてはどうか。こうした内容はこれからの５年で大きく変わる部 |

|     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|-----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 委員  | <p>分だと思う。こういった意見も個別の意見として自由記述欄に表れているかもしれない。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「多様性の尊重」の意味としては、外国籍の人をイメージしているのか、皆さんはどういった内容をイメージされているのか。これらのことも自由記述等に意見が表れているかもしれないので、自由記述欄のデータにも注目したい。</li> <li>・児童クラブで子どもたちと接する中で、父親が子育てに関わるのが少ない現状を感じている。父親としてどうやって子どもと接していいかわからない方もいるので、父親への子育て支援が必要だと思う。接し方がわからない場合に、どうしたら良いか対策を考えてくれる人なら良いが、暴力や虐待などにつながる例も現実には起こっているため、子育て支援には、ぜひ父親への支援をもっと充実させてほしい。</li> <li>・子どもの学習支援について、現在の小学2年生の子たちは、昨年のコロナ禍で基礎を習う年度始めの時期に休校になったため、学習能力に大きな影響が出ていると感じる。そのため、特に小学2年生への学習支援がより必要になると思う。</li> <li>・冒険遊び場について、資料2の成果指標一覧に実績3か所とされているが、具体的な該当施設はどこか。参加者も少なくなっており、経済的にも厳しく広報手段なども含め活動自体が難しくなっている。</li> </ul> |
| 事務局 | <p>冒険遊び場の該当施設については、改めて回答する。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| 委員  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民意識調査で「あなたは、これからも米原市に住みたいと思いますか」の問いはこの調査の中で一番重要な問いだと思う。先程、事務局からは全体的に満足度は比較的高いという説明があったが、内訳として年代別に見たときにどうなのか、特に若者世代の意見がどうなっているのかを把握すべきだと思う。「すぐにでも市外へ出たい」と回答した約8%の人が若者世代に集中していた場合、今後どのように対応するのか、大きな課題になると思うので内訳の精査が必要である。</li> <li>・少子高齢化は国全体での大きな課題で、世界的にみても日本は特に厳しい状態であるのに十分な政策がとられていない。</li> <li>・米原市だけが特別何かに恵まれているわけではないので、どうしても市外へ出て行く人が多い。縁があって戻ってくる人もいるが、高校卒業のタイミングで都会へ出て行き、その後戻ってこない人が圧倒的に多い。この状況は大変厳しいものであり、今後このまちが存続できるかどうかの瀬戸際に立っているという危機感を持って取り組むべき問題である。人口減少を防ぐために、出て行ってしまった人を呼び戻すためにどうす</li> </ul>                                                                                    |

|     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|-----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|     | <p>るか考えていく必要がある。市としてまんべんなく施策を行うことは大事だが、ポイントを見極めて施策を行い、米原市に戻って来られるようにすべきだと思う。戻って来られないなら、それに対してどのような対策をとるのか、田舎が好きな方を全国から呼び寄せることに重点的に取り組むような抜本的な取組が必要だと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・近隣市町では特に変わった施策を打ち出していなくても観光地や新たな宅地が形成されて人口が増えているところもある。旧近江町でも住宅が増えて新しい人が増えてきているが、裏を返せば米原駅付近の住宅地が不足しているという大きな課題がある。せっかく米原市を選びたい人がいても、この状況では人口増加にはつながらない。だからこそ、30代～40代の子育て世帯や今後、米原市から出て行ってしまう可能性がある20代のことを重点的に考えてほしいと思う。</li> </ul> |
| 会長  | <p>今回の見直しで「特出し」的に、重点施策を掲げるのはどうか。各課の具体的な取組を掲げるのが総合計画なので難しいとは思いますが、危機感を表すことも重要だと思うので検討いただきたい。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 事務局 | <p>審議会の意見として、今後5年間でそういった視点がないとまちが成り立たないとなれば、そういった見直しの方法もあると思う。内部でも協議し検討していきたい。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| 委員  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な地域活動に参加する中で、いつも問題になるのが医療体制や公共交通の課題、近くに商店がなく買い物が大変といった内容である。</li> <li>・市ではまいちゃん号などがあるものの、利用頻度はそれほど高くない状況で、地域の中で送迎などの対応も必要とされる切羽詰まった状況である。若い人は車があるから大丈夫だと思われがちだが、若い人も不便に感じていることがたくさんあると思う。そうしたなかで例えば、審議会のメンバーに子育て世代や若い世代に参加してもらうなど、様々な方の意見を取り入れる機会があると良いと思う。もしくは、オブザーバーとして多様な年代の方に参加いただけると良いと思う。</li> </ul>                                                                                  |
| 会長  | <p>移送サービスなども地域で行っているのか。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 委員  | <p>移送サービスや移動販売などは地域で行っており、移動販売の日は地域の皆さんにとって楽しみの一つとなっている。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 会長  | <p>公共交通はどの地域でも今課題になっていることであるし、移送サービスを行政側で支援する取組などができると良いと思う。高校生が通学する</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |

|     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|-----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|     | <p>のにも移動が不便で親が送迎しているといった状況もあるので、そういったことも含めて支援ができないか、関係課と相談してもらいたい。</p> <p>オブザーバーとして若い人をこの審議会へ呼ぶという案は事務局としていかがか。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 事務局 | <p>現段階ではオブザーバーを呼ぶことは想定していないが、若い人の意見を取り入れるための手法は今後検討していきたい。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 委員  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今後、米原市を好んで住んでくれる人を増やすためには、若い人の意見が大事だと思うので、この審議会にも若い世代の意見が必要だと思う。</li> <li>・ 伊吹地域に住んでいて感じるのは、賑わいが米原地域に寄ってきていて、置いてきぼりにされていることである。市民がもっと元気になれる魅力あるものを作らないといけないと思う。今はそういったものが見当たらないので、米原市を離れようと考えてしまうのではないか。</li> <li>・ 意識調査を行うにあたって、米原市出身で市内に住んでいない人（米原市を離れた人）の意見も重要だと思う。個人情報などが厳しい時代であるため、できるかはわからないが一度やってみてはどうか。なぜ、市を出ようと思ったのか、住めない理由は何かを知る必要があると思う。</li> </ul> |
| 会長  | <p>県立大学でも同様の調査をされている。私も以前に行ったが、市内に住む親を通じて市外へ転出した子へのアンケートをとった事例がある。「住む家がない」といった回答が一番多かったように思うが、そういったアンケートをとることも大事だと思うので、ぜひ検討いただきたいと思う。</p>                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 委員  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 意識調査の満足度、重要度の散布図で、例えば 20 ページの地域の医療体制の充実は、昨年より重要度は上がっているが満足度は下がっている。こういった点について重点的に見直すべきだと思う。</li> <li>・ 意識調査で、河南学区は回答率が 8 % と低い、27 ページの「子育てしやすいまち」の河南学区の満足度も一番低くなっている。回答者数が少ないのに満足度も低いのは、結論としてかなり悪い状況だと思うので、特に政策を見直してほしい。</li> </ul>                                                                                                                            |
| 会長  | <p>意識調査について回答データがあると思うので、追加でクロス集計をするなどして、回答者数が少ない部分で特異的な結果が出ているものについて、原因があるようなら提示してほしい。「何に重点を置くのか」が見直しに当たっては重要である。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 委員  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 見直しに当たっての視点を見ていて、新たな言葉がたくさんあるので、</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |

|    |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|    | <p>それを勘案して見直していきたい。特に注目を浴びているコロナやテレワークなどは、今回の見直しで取り入れたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多様性について、自分らしくここにいられるという「多様なものを認める」視点が重要だと思う。個別の対応は市役所が苦手なことだと思うが、それをどうやって補完していくか、個別の対応こそ大事だと思う。</li> <li>・どうしても議論として、「行政から『何が必要か』を問う」という行政側の視点になりがちなので、「住民側が何をしたいのか」という住民側の視点も入れていただきたい。</li> <li>・成果指標は、達成済みであっても施策に立ち戻って、もう一度見直しをしてほしい。数値達成だけが目標にならないように、質的な評価も併せて各課へ聞いてほしい。</li> </ul> |
| 委員 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・若者が市に魅力を感じて定住を図れるようにする施策が重要だと思う。簡単に言えば、県内の大学に通う学生に4年間市に住んでもらい、最終的には市に定住してもらうといった取組ができないか。若者が敬遠するのは、地域の昔ながらの風習をネックに感じているからだと思うので、若者向けのUターンの施策を充実させてほしい。</li> <li>・一度市外へ出て社会にもまれ、市へ帰ってきたが、引きこもりになってしまったという事例も少なくないと思っている。そういった人が活躍できる場を創出することも必要だと思う。環境が良い米原だからこそできる施策を考えたい。</li> </ul>                                                                  |
| 委員 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・この審議会では、議論するための情報が少ないと思う。（都市計画審議会で議題に上がっていた宅地造成などに関する情報が出されないのはおかしいのではないかな。）総合計画と言いながら他部署が持っている情報を把握できていないと思うので、組織内での情報共有を改善してほしい。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                          |
| 会長 | <p>宅地造成など人口の増減に関わる資料は、特にこの審議会では提示してほしい。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| 委員 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・総合計画は今後10年間の目標を示す計画なので、もう少し市民に対しての周知が必要だと思う。米原市が今後どういう方向へ進んでいくのかを市民全体で広く共有しておきたいし、そのためには若者の視点が重要だと思う。今後の担い手不足にどう対応していくかが課題であるし、重点的な取組を設定しないと施策のメリハリがつかないと思う。計画だけで終わってしまい実質的な効果が得られないのではないかと懸念している。</li> </ul>                                                                                                                                          |

|           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|-----------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>会長</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活課題の解決には市民と行政の協力が重要といわれるが、企業の参画も必要だと思う。いかにして、地元企業に地域に入って協力してもらえるか、地元企業と手を組む仕掛けづくりができるかが重要である。善意は重要であるが、プロを交えた仕組みづくりがもっと重要になると思う。</li> <li>・市外の 20～40 代の若い女性が結婚や出産で移住してもらうためにはどうしたらいいか。実質的にどうやって取り組むかの視点を計画の中に含めてほしい。</li> <li>・計画では、部ごとにまとめられているが、部門を超えた横との連携をしないと 1 か所だけの分野で終了してしまうので、縦割り行政は解消できないと思う。</li> </ul> <p>モデルプロジェクトがあると取り組みやすくなると思うので、一例を作れると良いと思う。</p>                                                                                                                                                                                                                                                         |
| <p>委員</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・米原市は交通の要衝であるのに発展しないのはなぜか、ずっと疑問に感じているなかで、原因の一つとして、都市計画がうまくいっていない、開発できていない土地が多いからだと思う。</li> <li>・若者が米原市を離れていく原因として、自治会の仕事や作業が多いこともあると思う。自治会役員の仕事は、事務作業や地域の祭りの準備、広報等の資料の配付など様々あり、一人で何役も抱えている状況である。親が役員になって疲れている姿を見て育った子どもたちはそんな地域を出たいと思ってしまう。</li> <li>・自治会が抱える仕事の多さから、今は自治会自体も疲弊している状況である。</li> <li>・利便性を生かした政策が必要であり、通勤圏内で新幹線の補助を行うことで定住を図れないか。</li> <li>・市民全体に市の魅力や情報をもっと早期から発信するべきだと思う。例えば、宅地開発などの情報にしても早く発信しないから、近隣市町に人口をとられてしまうのではないか。</li> <li>・成果指標の No76 都市公園面積について、車を使える若い人たちや特定の人しか使えないような場所に作る公園なら不要だと思う。どうしても作る必要があるのなら、公園機能だけではなく、複合的な役割をもつ公園にしてはどうか。健康遊具を設置するなど、そこにしかない設備を整えるなど、その地域ならではの魅力を創るべきだと思う。</li> </ul> |
| <p>会長</p> | <p>住宅地開発についての情報発信が遅いというのは、どういう状況か。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |

|     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|-----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 事務局 | <p>住宅地開発はあくまでも民間業者が主体となっている開発であり、都市計画審議会ですういった情報が出されることもある。市が行っている住宅地開発であれば情報をもう少し早く発信できると思うが、民間業者によるものについてはどうしてもタイミングが難しい部分がある。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 委員  | <p>事情は理解できるが、情報として少しでも知っているのと全く知らないのとでは、考え方に大きな違いが出てくると思う。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 委員  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・若者、高齢者、年代問わず大事なことは利便性の視点であると思うが、現状、地域差があり難しい問題である。</li> <li>・防災士会という防災士の組織を作りたいと思い活動している。防災の観点から見ても地域のつながりが大事だと感じている。まちは人づくりであり、防災士を中心とした人材育成も必要だと思う。</li> <li>・何らかのまちづくりをすることで、地域のつながりを大事にしていけないといけない。</li> <li>・今年度はハザードマップを更新して配布した。理想は、安全な場所を提供して、危険な場所に住む人に引っ越しをしてもらうことであるが、現実問題として実際に一番大事なことは、危険なところを先に知って備えてもらうことだと思う。</li> </ul>                                                                                 |
| 委員  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭の在り方は若い世代も含めて、だんだん変わってきていると思う。（男性が家事をすることも増えている。）</li> <li>・人口推移の予想が甘いとの意見もわかるが、一方で、人口増加を期待できると思った理由もある。何年か前に保育園や高校の無償化などの影響からか、いま学童で活動するなかで、子どもがほしいと思う人が増えたことを実感している。</li> <li>・実家の近くなら子育てで安心できる、ごみの分別が楽な地域が良いなど、住みやすいきっかけがあれば人口増加につながると思う。</li> <li>・審議会のメンバーは昔ながらの自治会や地域の風習を頑張って守っていかなければと考えている人が多いと思うが、若者たちが地域に入って「やめても良いのでは?」「昔のやり方を変えたら?」と率直に感じた意見を活発に出して、その意見を先輩世代が尊重していけば、少しずつでも物事は変わっていくのではないかと思う。</li> </ul> |
| 委員  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・総合計画の分野が大変多岐に渡るので、議論をしぼったり、あらかじめ委員から意見を集めたりするなど会議の在り方を見直すべきだと思う。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 会長  | <p>皆さんから、御意見をいただいた。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |

|              |                                                                                                                                                                                             |
|--------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 事務局          | <p>次回、事務局から見直しの案が出されるということによろしいか。</p> <p>今後、各課へ照会をした上でその結果を含めて皆さんにお示ししたい。</p>                                                                                                               |
| 会長           | <p>会議の中で人口増加のための重点施策をといた御意見もいただいたが、どうしても総合計画となると全分野にわたってまんべんなく作成する計画となり、人口増加などの目標を示した計画としては「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の施策もあるので、難しい部分もあるが改善できるところは改善していただけたらと思う。</p> <p>では、議事は以上で終了となるので事務局へお返すする。</p> |
| 事務局          | <p>会議で御発言いただけなかった内容などは、別紙にて事務局まで御提出いただきたい。</p> <p>閉会に当たり、政策推進部長から一言申し上げる。</p> <p>(閉会挨拶)</p> <p>— 終了 —</p>                                                                                   |
| 会議の公開・非公開の別  | <p>■公開 傍聴者： 0 人</p> <p><input type="checkbox"/>一部公開</p> <p><input type="checkbox"/>非 公 開</p> <p>一部公開または非公開とした理由 ( )</p>                                                                     |
| 会議録の開示・非開示の別 | <p>■開 示</p> <p><input type="checkbox"/>一部開示（根拠法令等： )</p> <p><input type="checkbox"/>非 開 示（根拠法令等： )</p>                                                                                      |
| 全部記録の有無      | <p>会議の全部記録 <input type="checkbox"/>有 ■無</p> <p>録音テープ記録 <input type="checkbox"/>有 ■無</p>                                                                                                     |
| 担 当 課        | 政策推進課 (内線 4 2 3 2)                                                                                                                                                                          |